

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【芸術／美術Ⅰ】

1. 対象

表現活動を好み、意欲的に取り組む。これまでに、制作途中の作品についてアドバイスをし合う中間鑑賞や作品完成後の相互鑑賞、本校にある海野光弘記念館の鑑賞を行っている。自身の制作の参考になる等の理由から、他者の作品を見ることは好きだが、作品に対して自分の言葉で具体的な感想や考えを書いたり述べたりすることは苦手な生徒が多い。鑑賞領域のみの題材は初めてである。

2. 題材 「感じよう！世界を魅了した日本の美術～浮世絵の魅力を探る～」(全3時間)

3. 題材で育成すべき資質・能力の三つの柱

①知識	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。
②思考・判断・表現	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりする。
③主体的に学習に取り組む態度	・美術や美術文化と豊かに関わり主体的に鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

4. 題材の目標

日本の美術が西洋の美術に影響を与えたことに興味をもち、日本の美術のよさや美しさ、魅力を感じ取り、主体的に鑑賞活動に取り組む。浮世絵がもたらした美術文化について、理解を深める。

5. 授業展開【本時・題材】

解決したい課題や問い
浮世絵の「何が」が西洋の画家を魅了したのか

考えるための材料A	考えるための材料B	考えるための材料C
ゴッホ『タンギー爺さん』 マネ『エミール・ゾラの肖像』	【波】 ・葛飾北斎『神奈川沖浪裏』 ・クールベ『波』 【雨】 ・歌川広重『東海道五十三次』 ・ターナー『雨、蒸気、速度』 【人物】 ・喜多川歌麿『ビードロ吹き』 ・ダ・ヴィンチ『モナ・リザ』	歌川広重『亀戸梅屋舗』『大はしあたけの夕立』 菱川師宣『見返り美人図』 ゴッホ『梅の開花』『雨の橋』 マネ『ラ・ジャポネーズ』
想定される活動	想定される活動	想定される活動
西洋絵画の背景に浮世絵が描かれていることに気づき、西洋の画家が浮世絵に感銘を受けたことを理解する。 【問1】浮世絵が西洋の画家を魅了したのはなぜだろうか	浮世絵と西洋絵画の作品を比較鑑賞し、それぞれのよさや相違点を感じ取る。 【問2】それぞれの作品のよさや相違点は何だろうか	ゴッホの模写作品を提示し、輪郭線の強調や雨の表現、マネの作品が菱川師宣『見返り美人図』の構図に似ていることに気づく。 【問3】西洋の画家は浮世絵から何を学び、自分の作品にどう生かしただろうか

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

- (1) 問題提示(15分) 課題を提示する。▶「これは日本の作品?」「ゴッホなら知っている。」「ジャポニズムって初めて聞いた。」
- (2) 個人活動①(20分) 材料Aを用いて、【問1】に取り組む。問いに対する自分の考えをまとめる。
▶「木版画だから。」「版画でこれだけすごい表現ができているから。」「西洋にはない発想だから。」
- (3) 個人活動②(15分+15分) 材料Bを用いて、【問2】に取り組む。問いに対する自分の考えを付箋に書き出す。▶「波頭を誇張して描いている。」「波に迫力がある。」「構図が大胆。」「西洋の方は写真みたい。」「人の動きで雨風の様子が伝わる。」「濃淡のシルエットが美しい。」「空がぼやけている」「シンプル。」「着物のデザインがきれい。」「立体感がある。」「背景まで描き込まれている。」
- (4) 対話と思考①(35分) 感じたことをグループで共有する。自分の意見を伝えると同時に、他者の意見を聞き、より深く思考する。▶「そういう見方もあるのか。」「これについては全員の意見が一致したね。」「私はこっちの作品の方が好き。」
- (5) 対話と思考②(35分) 材料Cを用いて、グループで【問3】を解決する。▶「浮世絵の輪郭線が強調されているところが影響しているのかな。」「浮世絵の細い線で雨の向きや勢いを表現しているところを真似ていると思う。」「浮世絵の構図を生かしてるね。」「浮世絵の鮮やかな色づかいを真似たのかな。」「形を抽象化しているところが浮世絵の影響かな。」
- (6) まとめ(15分) 各グループの発表を聞き、【解決したい課題】に対する自分の考えをワークシートにまとめる。

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

- ・「大胆な構図で迫力が出せるところ。」
- ・「浮世絵の輪郭線で囲み、着色する表現方法が西洋では新鮮だったところ。」